

令和6年4月4日

関係各位

臨床研究における個人情報の漏えいに関するお詫び

愛知医科大学

学 長	祖父江 元
医学部長	笠井謙次
病院長	道勇 学
糖尿病内科教授	神谷英紀

このたび、本学糖尿病内科の臨床研究において、個人情報の漏えいが発覚いたしました。日頃より、個人情報の取扱いには十分注意してまいりましたが、このような事態を招き、当該患者様及びその関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけする事態となりましたことを謹んで深くお詫び申し上げます。

本漏えいの範囲は、臨床研究に当たり本学と機密保持契約を締結した共同研究機関・外部検査委託機関に限ったものであり、既に情報は適切に削除されております。このため、当該情報が第三者に漏えいすることは決してございません。

本事案を厳粛に受け止め、今後はこれまで以上に厳重に注意するとともに、大学全体で再発防止に努めてまいります。

1 事案の概要

研究者の不注意により以下の情報漏えいが発生しました。

- (1) 外部検査委託機関Aに被験者様の血液検体を送る際に、削除すべき氏名及びカルテ番号を付したままの検体を誤って送付した。
- (2) 共同研究機関Bに被験者様の研究データ（診療情報）を送る際に、削除すべき氏名及びカルテ番号を付したままのデータを誤って送付した。その際、被験者様以外の患者様の情報も誤って添付した。

2 漏えいした個人情報等

- (1) 外部検査委託機関Aへの漏えいについて
 - ① 漏えい内容：被験者様 氏名，カルテ番号
 - ② 漏えい件数：被験者様 2名
- (2) 共同研究機関Bへの漏えいについて
 - ① 漏えい内容：被験者様 氏名，カルテ番号

患者様 氏名，カルテ番号，入院日，性別，病歴，社会歴，
身体所見，血液検査結果，生理検査結果
※住所，電話番号，生年月日は漏えいしていません。

- ② 漏えい件数：被験者様 102名
患者様 533名

3 事案発生後の対応状況

- 令和6年2月26日(月)に共同研究機関B及び外部検査委託機関Aからの連絡を受け，両機関と連携しながら事実関係の確認と本学の個人情報管理委員会及び医学部倫理委員会を開催し，今後の対応及び再発防止に向けた対策について協議を行いました。
- その後，対象となる患者様全員に対して，謝罪のお手紙を発送するとともに，本件お問い合わせ窓口を設置いたしました。本事案により当該情報が第三者に漏えいすることはありませんが，不安や不快な思いをされた被験者様に対して，本研究から辞退する機会を提供させていただきました。
- 本件は研究における重大な不適合事案として文部科学省及び厚生労働省，また，個人情報漏えい事案として国の個人情報保護委員会に報告いたしました。

4 再発防止への取り組み

本事例を本学全教職員に共有し，患者情報などの個人情報を厳重に取り扱うよう指導を徹底します。具体的には，個人情報を含むデータを扱う際には，データ内容，秘匿化設定，送付先などを複数名で確認することの手順を周知・徹底いたします。

また，個人情報の取扱いに関する研修会を企画し，研究者の意識向上に努めます。(令和6年度中に実施予定)

5 本件お問い合わせ先

愛知医科大学医学部 事務部庶務課

担当 岩瀬

電話番号 0561-61-5395 (土日祝を除く平日：月～金曜日 9:00～17:00)